



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 6日 金曜日	試合コード	
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	八代市総合体育館

結果	A	スコア		B
	26	MNE	前半	ESP
14-14				
後半				
12-13				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
7m c				
—				
—				

戦況	見出し	グループCを1位で突破したのはESP、MNEは1点差に泣く
	前半	<p>予選ラウンド最終日、予選トップ通過はMNEか、それともESPか、注目のカードはMNEのスローオフで始まった。立ち上がりからどちらも速い攻撃を仕掛け、見ごたえのある激しい攻防となった。MNEが長身のポイントゲッターNO32のロングシュートやRBからのカットインなどで得点を挙げれば、ESPはNO99のミドルシュートやNO86の7mスローなどで応酬し、一進一退の攻防が続いた。中盤は両チームとも退場者を出す場面がみられたが、ESPはNO86のループシュートやフェイントからのカットインなどで個人技で得点し、徐々に差を広げた。しかし、MNEはNO1GKが相手7mスローを阻止するなど好セーブを連発して流れをMNEに引き寄せた、MNEのNO80のカットインやNO34のポストシュートで追いついて前半を終えた。</p>
後半	<p>後半はESPのスローオフで始まった。MNEは一人退場した場面からのスタートで、ESPは早いパス回しでNO39のカットインで確実に得点してリードを奪った。しかし、ここからMNEはPVを使ったコンビネーションを展開し、NO34のポストシュートとNO4の7mスロー、NO90のロングシュートなどで逆転した。さらにNO1GKの好守で点差を広げた。一方ESPは、NO86のロングシュートやNO25の7mスローで確実に得点を句点を重ね、残り7分、ついに23-23の同点となった。ここからは、両チームとも意地と意地のぶつかり合い、一進一退の攻防が終盤まで続いた。決着をつけたのは、やはりESPのNO86。残り3秒、フリースローからのミドルシュートで劇的勝利を挙げた。</p>	



戦況作成者

河野 彰 寛